

## 障害者虐待防止・権利擁護研修

# 私の経験した「虐待」

## 1 警察（保護という名の虐待）

保護の方法の一つ？「簀（す）巻き」による身体拘束  
簀巻き＝布などで人間をくるんで、完全に身動きさせない状態

## 2 病院（治療・安全という名の虐待）

### ①身体拘束

胸、両手、両足などを固定具でベッドに固定する

### ②保護室監禁

トイレとベッドしかないのかかった個室に監禁する時計がない、読書、音楽鑑賞、外部との連絡は禁止

# 身体拘束による死亡事故

2017.9.17読売新聞

## 「医療なび・精神科増える身体拘束」

ニュージーランド人が精神科病院で身体拘束を受けた後、急死  
(問題点)必要性、拘束10日間の妥当性、血栓症の予防措置2003年  
から2014年で身体拘束は約2倍(5109人から10682人)

「精神科医療の身体拘束を考える会」設立

拘束＝苦痛、尊厳を傷つける、血栓症や脳塞のリスクあり。

オムツや導尿は自尊心を傷つける。

対策＝患者に寄り添って話を聞き、落ち着けば即座に解除する。

2019年6月19日 NHK Eテレ ハートネットTVで報道あり

「身体拘束のない国へ～ニュージーランドからの報告」

2年前、日本在住のニュージーランド人男性が精神科病院で身体拘束を  
受けた後に亡くなった。海外から批判を浴びることになった身体拘束。

海外の先進事例からヒントを探る。